

今回は、第4回 中学生模擬国連会議 の報告です。

◇ 他校生・中学生との協働で、模擬国連会議を行いました！

2019年度、関高生の考案で、中学生が大使役を、高校生がスタッフを務める模擬国連会議を本校で開催しました（第1回）。残念ながら、2020年度はコロナ禍のため中止しましたが、2021年度、外部会場（せきてらす）で開催し、地域の方々からも好評を博しました（第2回）。この時、加茂高生がボランティアとして駆けつけてくれたことがきっかけとなり、2022年度からは加茂高生がスタッフとして加わるようになりました（第3回）。

そして2023年度から、関高・加茂高共催イベントとして、両校生徒が共同運営にあたっています（第4回）。会場も、関会場（7/16、12/27）、美濃加茂会場（7/19）の2か所でそれぞれ行うようにし、1年で計3回の模擬国連会議を実施しました。

関高校が取り組んでいる模擬国連会議の特色は以下の通りです。

- ・地域の中高生が主体となって取り組む。
- ・企画や運営は、すべて高校生が自主的に行う。
- ・大使を経験し、高校入学後にスタッフとなる生徒もいる（活動の継続性に寄与）。
- ・感染症等に配慮しつつ地域に公開する。

2019年度以来、中学生模擬国連会議では、中学生が大使役を務めるということもあって、初心者向けのテーマ（国連カフェのメニュー決め）を使って実施してきましたが、2023年12月、難易度を上げたテーマ（教育問題）を用いての会議を開催しました。当初は、難しすぎるのではないかと懸念もありましたが、中学生大使、高校生スタッフの頑張りや機転によって、予想以上の成果を挙げることができました。

◇ 今後の展望



次年度も引き続き、加茂高校との共同運営をめざします。さらに、次年度開催される「清流の国ぎふ総文祭」郷土研究部門・公共政策の部において、今までの活動成果を総括し、成果と課題、今後の展望に関し発表を行う予定です。

12月27日開催の模擬国連で、教育という難解なテーマにチャレンジできたことは大きな一歩となりました。今後は、市議会や市役所と連携した模擬請願や模擬市議会にもチャレンジして生きたと考えています。

